

司式 ローレンス・スパーリンク宣教  
奏楽 大日南苗香姉妹

前 奏

開 会 招 詞 ( 詩篇67編 )

\* 賛 美 歌 86:1,3 たみよ、手を打ちならせ

- 1 たみよ、手を打ちならせ、 主に向かい高らかに よろこびのこえあげよ。  
げに、ぜんちおさむるは、いとたかきかみなる主、おそるべきおうなる主。
- 3 喜びの声の中、角笛の音と共に、主は昇り行きたもう。  
われらの主ほめまつれ。げに神は全地の主。歌もて、告げ知らせん。

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書2 罪の告白①

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。ア - メン。 (詩編51)

罪の赦しの宣言 (ヨハネ伝3章より)

十 戒 祈禱書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないでおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 74 : 1,3 わが主にゆるされ

- 1 わが主にゆるされ ころやすらぎ あたらしきちから

こころにみちて、主の道あゆまん。

3 心を尽くして 我が主を愛す おきてをよろこび  
力を尽くし 主の道歩まん。主の道 アーメン

公同の祈禱 祈禱書31 新年第一主日

えいえん ぜんのう かみ み な めく す いちねん まも  
永遠にいます全能の神さま、御名をほめたたえます。恵みによって過ぐる一年を守ら  
しゆくふく しんねん むか かんしゃ  
れ、祝福のうちに新年を迎えることができ、感謝いたします。  
とし みまえ がが もくひょう めざ きょうかいせいかつ ひ せいかつ しゆ みち  
どうかこの年も、御前に掲げた目標を目指し、教会生活と日ごとの生活において主の道  
あた しめい は い  
を歩み、あなたから与えられた使命を果たして生きることができるよう。わたしたち  
けんしんてき かみ きょうかい ひとびと つか しんこう けんこう けいざいせいかつ すべ しゆくふく  
が献身的に神と教会と人々に仕えるため、信仰と健康と経済生活の全てを祝福してください。

献 金 (黒)教会活動 (赤)九州伝道を覚えて 70  
今ささぐるそなえものを 主よ きよめて受けたまえ アーメン

聖書朗読 三ハネによる福音書4章25～42節(新約聖書170頁)

説教・祈禱 「大いなる収穫の実現を目指す」 L.スパーリンク宣教師

\* 賛美歌 83:1 友よ奮い立て

ともよふるいたて おおしくあゆめよ。主はともにいます。いざすすめ。  
神のくにの 神の子らよ、すべての民をキリストのせしめよ。  
ちちみこみたまのみかみにみちびけ。ともよたちあがれ、いざすすめ。

\* 主の祈り 祈禱書1

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ  
ねが み な  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
みくに き みこころ てん ち  
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
われ にちよう かつて きょう あた  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ  
われ つみ おか もの われ ゆる つみ ゆる  
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ  
われ こころ あ あく すく いだ  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
くに ちから さか かざ なんじ  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 派遣と献身の賛美歌 讃美歌225:1 すべての人に

すべての人にのべつ伝えよ 神のたまえるみおとずれを：  
あめなるちちはみこをくだし すくいのみちをひらきませり。 アーメン

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 古澤兵庫長老(司会・受付 次週：門脇一長老)

本日 受付 1階：藤原宏章・佐藤紀子執事 2階：古澤迪子執事 /動画： 録音：

次週 受付 1階：長尾牧・那珂信之執事 2階：星野房子執事 /動画： 録音：

※ 2グループ制により、長老も1階と2階に一名ずつ加わります

## 220109 説教題:「大いなる収穫の実現を目指す」

中心的主張点: イエス様のビジョンを共有して、収穫の実務に従事することは主の民の使命であり、喜びである。

説教者: ローレンス・スパーリンク(キリスト改革派日本伝道会宣教師)

参照: ハイデルベルク信仰問答問 Q. & A. 54-55、86、103、123

聖書朗読: ヨハネによる福音書4章25-42節(新協同訳聖書、新約聖書170頁)

女が言った。「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られることは知っています。その方が来られるとき、わたしたちに一切のことを知らせてくださいます。」イエスは言われた。「それは、あなたと話をしているこのわたしである。」

ちょうどそのとき、弟子たちが帰って来て、イエスが女の人と話しておられるのに驚いた。しかし、「何か御用ですか」とか、「何をこの人と話しておられるのですか」と言う者はいなかった。

女は、水がめをそこに置いたまま町に行き、人々に言った。「さあ、見に来てください。わたしが行ったことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。」人々は町を出て、イエスのもとへやって来た。

その間に、弟子たちが「ラビ、食事をどうぞ」と勧めると、イエスは、「わたしにはあなたがたの知らない食べ物がある」と言われた。弟子たちは、「だれかが食べ物を持って来たのだろうか」と互いに言った。イエスは言われた。「わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである。」

あなたがたは、『刈り入れまでまだ四か月もある』と言っているではないか。わたしは言うておく。目を上げて畑を見るがよい。色づいて刈り入れを待っている。既に、刈り入れる人は報酬を受け、永遠の命に至る実を集めている。こうして、種を蒔く人も刈る人も、共に喜ぶのである。そこで、『一人が種を蒔き、別の人刈り入れる』ということわざのとおりになる。あなたがたが自分では労苦しなかったものを刈り入れるために、わたしはあなたがたを遣わした。他の人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実りにあずかっている。」

さて、その町の多くのサマリア人は、「この方が、わたしの行ったことをすべて言い当てました」と証言した女の言葉によって、イエスを信じた。そこで、このサマリア人たちはイエスのもとにやって来て、自分たちのところにとどまるように頼んだ。イエスは、二日間そこに滞在された。そして、更に多くの人々が、イエスの言葉を聞いて信じた。彼らは女に言った。「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。わたしたちは自分で聞いて、この方が本当に世の救い主であると分かったからです。」

( 以上は神のみことばです。主に感謝します。 )

### 序 説:

私の宣教師としての献身の背後に私の心を何回かつかんだ聖書箇所があります。それはルカによる福音書10章1-3節です。そこから今もイエス様の声が響きます: 「その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主の願いなさい。行きなさい。わたしはあなたを遣わす。」となっています。この箇所から説教したことがあります。イエス様がこうおっしゃったのは72人の弟子たちを伝道旅行に任命した時でした。でも、私自身に対して語っておられるように響いています。私の人生にわたって、結婚して、神学校に通い、子供を設け、引越しなどの営みの中に、どの場合でも、私の歩みを導く星や灯火のような光となっています。そこで、新しい年が始まった今になりました。

いろいろな変動がある一年となるでしょう。しかし、生きる限り、神様の大きいなる収穫のために働くことが私の念願であり、私の喜びです。私の幻でもあります。

1、イエス様とサマリアの女性との会話に、今日の聖書箇所、幾つかの驚きがあります。そしてここにもイエス様とその弟子たちにいわゆる「収穫」について語っています。この収穫はいつもイエス様の考えと心にあったのです。

福音書の著者ヨハネが指摘しますが、ユダヤ人とサマリア人の仲が悪く、付き合いをしないことが常でした。「おい、サマリア人のお前」と人に言うと、とんでもない侮辱の言葉となります。ユダヤ人のラビ、先生が女性を相手にして教えることもないのですが、ましてはサマリア人の女性、おまけに、このような評判のひどい女と話す訳はありません。これども、イエス様は、人種差別と性差別を一切捨てて、彼女に小さな助けをお願いします。「水を飲ませてくれないか」と。彼女が実際にこの願い通りにそうしてくれたかどうか、記録されていませんね！驚きの連続です。

弟子たちが食べ物をごどこか買いに行き、イエス様が一人でこの女性を相手にできた機会を主が見つかることができます。弟子たちがもしそこにいれば、展開は全然違っていただろう。

でもこの最も驚くことが更にあります。「霊とまことを持って礼拝できること、すべきこと」の非常に貴重な教えを述べてくださいます。また更に、イエス様はここで初めて、初めてです、初めてご自身が来るべきキリストであることを人に言い表します。メシヤであり、救い主である、と。これをあのサマリアの女に教えてくださるのです。

次の展開にあるように、彼女の悪い評判とめちゃくちゃの生活にもかかわらずイエス様は、多くの民をご自分のもとに導くための器として用いてくださいます。

そして最後に、もう一つの驚くことがあります。それは39-42節にあることです。ご自身の民、ユダヤ人とその指導者に嫌われる主が数日間彼らと付き合い、教えることによって、多くのサマリア人が救いに入ることです。たったの二日間の滞在でしたが、何というハッピーな展開ではないでしょうか。

2、イエス様の弟子たちが戻ってくると、イエス様がこの女性と話し合っている様子を見て驚きますが何も言いません。ただ、「先生、何かお召し上がりなさいませんか」と食べ物を提供します。でもそれよりも大切なことがあります。イエスはこの機会に、ご自身の使命が何であるか、また、弟子たちの使命がどんなものなのかと教えてくださいます。疲れ果てて、食べ物も、飲む水もない主は、「あなたがたの知らない食べ物がある。」とおっしゃいます。「わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである。」最も根本的に人間に必要な食べ物、飲み物、衣食住などと考えます。しかし、そうではない、と。お金や財産でもない。最も大事で必要なのは、良い知らせを語り伝え、霊的に死んでいるものを新しい命へと導くことである。これさえできるならば、他のものはどうでも良い。これだけして、主イエスは満足です。

イエス様のものの見方と弟子たちと私たちの見方とは違います。ここに、失われていくものを探し、救いに入れてくださるために来られた方がいます。檻にいる安全な99匹よりも迷子の1匹をはるかに大事にする良き羊飼いです。

真冬の最中に収穫あることをお話になります。私も今日、そうしていますが。けれども、弟子たちはこれがちゃんと見えるでしょうか。その必要？その時が来ていること？私たちはどうなのでしょうか？

3、すべてをお造りになった方がすべての国民からご自身の者を呼び集めることを、天地創造の前からお定めになるご計画がありました。今がその計画を実現に移す時です。

このことについてハイデルベルク信仰問答書54問がとても参考になります。読んで、確認してみましょう。Q54：「『聖なる公同の教会』について、あなたは何を信じていますか？A：神の

御子が、全人類の中から、ご自分のために永遠の命へと選ばれた群れを、ご自分の御霊と御言葉とにより、まことの信仰の一致において、世の初めから終わりまで集め、守り、保たれる、とうこと。そしてまた、わたしがその群れの生きた部分であり、永遠にそうあり続ける、ということ

です。」  
神様は紀元前2,000年ごろ、ご自分の民となるように呼び出されたアブラハムに、その子孫によって地上のすべての民が祝福に入ると約束してくださいました。時代が流れていきますが、約束の救い主が地上に現れることによって、その約束の実現が大いに前進しました。つまり、神様がそのご計画を実施しておられます。

ハイデルベルクが言うように、神様はいつの時代にもその恵みによって救われる人をご自分の民に加えてくださいました。イスラエル人やユダヤ人だけではありません。しかし、聖書が教えるタイムラインの中には、今が特別な時代です。聖書の表現では、「終わりの時」あるいは「世の終わりの時代」と言います。今こそ、神様はおびたしいものをご自分の民に加える時です。

4、イエス様の話に聞き、イエス様に学ぶ時、そのみことばは私たちに宛てられていることがわかります。今こそ、収穫の主に祈ることを最優先にして、主の民を呼び集めることの実務に取り掛かる時です。私たちこそ、収穫の働き手です。

この収穫は聖書の中でよく出てきます。詩篇67編が一つの良い例です。豊作を願う祈りは世界の民が神様を知るようになり、すべての国民が主をほめたたえるようになることにリンクしています。地の果ての民も主の群れに加わります。イエス様も、収穫のことについて語ったり、例えば話で用いたり、弟子たちに今がその時であるように諭してくださいます。つまり、神様の計画の実現に弟子たちの目を覚ましてくださいます。

イエス様は何回か12人の弟子を訓練して、いわゆるミッショントリップに送り出します。ルカ伝10章がその一つの例ですが、この場合は12人ではなく、72人を訓練の旅に送り出します。それは私たちにもできることです。若者にも歳を召した者にも出かけていただけます。幸いなことに、私たちの間に有経験者もいらっしゃると思います。

イエス様ご自身は手本を示してくださいます。今日の箇所もその一つの例です。そして改めて確認しますが、この作業は食べ物よりも私たちに必要な、心を満たしてくれることであると指摘してくださいます。第一優先にすべきことです。

イエス様に定まった十字架の死とその三日目の復活が実現しますと、イエス様は今度世界宣教の実務を弟子たちに委託して任命します。「行って、すべての民を私の弟子にきなさい。」と。この任命はまた、弟子の後継者である私たちにも与えられています。世の終わりまでそうです。

イエス様の再臨は一体どうなるのでしょうか。天に昇られて2,000年近くが経ちました。聖書によって、今が救いのメッセージを語り、人を弟子にする時代であることとして理解します。イエス様がその再臨を遅らせるのであれば、それはこの方の忍耐によることであるとペテロの手紙が語ります。でも、最後が間違いなくついにきます。今が悔い改めて、信じて、その大いなる、恐ろしい、主との再会に備える時です。ですから今も勧めるのです。イエス・キリストは唯一の救い主、道であり、真理であり、命です。このお方を通してしか罪の赦しと新しい永遠の命はありません。このお方を通して、創造主との健全な関係を回復してもらいなさい。ただ信じて、願えば実現します。

5、では、収穫の具合は今日どうなっているのでしょうか。どんな状況にあるのでしょうか。

歴史は全能の神様の計画通り展開しています。ただいま世界を見回すといくつかのことが自信を持って言うことができるでしょう。一つ目に、神の民に対して起こっている迫害はかつてのどの時代よりもひどいことです。でもそれよりも喜ばしいことがあります。どの時代よりも、日々、神の民に加わっている人数は歴史のどの時代よりも多いことです。ただ、私たちの期待はずれのところにあります。地球の南半球やアフリカ、イスラム圏にあります。今日の蔑まれる、いわゆる「サマリア人」がイエス様に、自分たちの救い主として従っています。

西洋の国々や、特に気になる日本はどうでしょうか。今回も何千万人の新年初参りや初詣を行い、自分の健康や繁栄や、幸運を、パンデミックの収束を、人手で作られ、創造主に背いて考え出された偶像に祈っておきました。150年の福音宣教にもかかわらずです。どうしてなのでしょう。何百万人が唯一の生けるまことの神に立ち返り、この方に従う障害は何なのでしょう。ここにも、豊かな収穫が起こりうるでしょうか。

私は大胆に「あり得る」と答えます。なぜなら、神はこうおっしゃいました。悪人が死ぬことを喜ばない。主が喜ぶのは悪人が悔い改めて生きることです。一人の罪人が悔い改めるに、天において大きな喜びがあるとおっしゃいます。だったら、一人ではなく、大勢の者が悔い改めて命に入ることに天においてどんなに大きな喜びがありましょうか。私たちの家族と仲間と隣人がこの方に立ち返る時に、想像を絶するほどの喜ばしい騒ぎが起こるに違いありません。

これは可能であるかどうかは問題ではありません。聞くべき質問は次の通りです。そのために私は何をするのか、ということです。あるいは、あなたは何をするのか。あるいは、私たちの教会は何をするのか。預言者がすでに予言しました。イエス様ご自身は豊かな収穫の幻を示してくださいました。中に立派な戦いを戦いぬいた者もいます。サマリア人もいっぱい入っています。そこに私も信じる皆様もその作物の中にいます。では、今後は 私たちは何をのでしょうか。結論にわたしの答えがあります。

決論：イエス様のビジョンと幻を自分のものにしましょう。イエス様の優先順位に学び、私たちの調子を合わせましょう。イエス様の献身に学んで、託された使命を食べ物や飲み物やどのものよりも大事にしましょう。新しい弟子を作ること、世界宣教に努めることを私たちの最大義務、使命、いや、私たちの最大の喜びにしましょう。これは私たち今ここに生きていることの理由であり意味であります。私たちも決心と献身を新たにして、神の国の収穫の働き手となりましょう。これこそが私たちに対する主の御心です。 アーメン。

祈祷：主イエス様、私たちを死と滅びから救い出し、ご自身の宝の民として聖なる主の御前に立たせるために天の栄光を捨てて、私たちの間で暮らしてくださいました。私たち本当に罪に汚れたサマリア人にご自身の使いを送り、ご自身を示し、魂を生き返らせる生ける水を価なしに提供してくださいました。感謝してみ名を褒め称えます。弱い私たちをもどうか、あなたの救いの福音を運ぶ器にしてください。これからの一年、私たちに残る日の限り、聖霊の清い力を注ぎかけ、あなたのメッセンジャーとして、多くの者が信じるように役立たせてください。どうか主よ、この国にもあなたの力の業を行い、大きな喜びと偉大な賛美で溢れる国としてくださいますように。 アーメン